

必要条件を満たした方には、(公社)京都府観光連盟会長および京都大学大学院経営管理研究部経営センター長より受講証明書を授与いたします。
本セミナー中、あるいは受講後に、簡単なレポートを提出していただくことを予定しております。
テーマや形式については、オリエンテーションまたは講義の中でご説明いたします。

体験編

令和7年2月

13日木 / 14日金 / 20日木 / 21日金

各コマ80分
全11コマ

レクチャー編での観光経営に関する学びをもとに、DX技術を応用し、観光業が直面する事業課題を考え、解決のプロセスを体験していただきます。

体験 観光課題の解決プロセスを体験する

自身の事業を変革することを想定し、観光関連事業の経営・運営上の課題を取り上げ、DX手法を用いてソリューションを導き出すプロセスを体験していただきます。

体験 観光サービスをマネジメントする

観光のサービス・プロダクトを作る「プロジェクト」を成功に導くには適切な「プロジェクトマネジメント」が必須です。プロジェクトマネジメントの世界標準である「PMBOK」を通じて、必要なプロセスや知識の全体像と実践における注意点を講義と演習により学びます。

体験 受講者のリアル課題を考える

観光事業の現場に見られる実課題について考え構想するために取り組んでいただきます。課題解決のためのヒント(観光施設のDX事例、DX時代の情報セキュリティなど)や課題分析ツールをもとにグループで討議します。さらにそれを受講者個人の場合に当てはめて考察し構想をつくってみます。

発表・講評

2/13木	10:30-11:00	オリエンテーション	前川佳一 京都大学
	11:10-12:30	体験 システム開発演習 I・II・III・IV	村野剛太他 東京海上日動システムズ
	13:40-15:00		
2/14金	9:30-10:50	体験 プロジェクトマネジメント演習 I・II・III	廣澤健樹 ANAシステムズ
	11:10-12:30		
	13:40-15:00		
2/20木	9:30-10:50	体験 リアル課題演習 I・II・III	香山哲司 NEW3コンサルティング 篠原洋輔 4sidesB株式会社 前川佳一 京都大学
	11:10-12:30		
	13:40-15:00		
2/21金	9:30-10:50	発表 受講生発表&講評	
	11:10-11:50	まとめ	前川佳一 京都大学
	11:50-12:20	修了式	

※講師・テーマは変更になる場合があります。

令和6年度

京都府
観光経営
セミナー

募集要項
お申込み



セミナー目的・内容

「令和6年度 京都府観光経営セミナー」

- ・セミナーの目的:内外の急激な環境変化をチャンスと捉え、最新のAI技術やデジタルアプリ等を積極的に活用した事業経営を打出すことで、京都の観光関連事業をさらに飛躍発展させる人材の育成を図る。
- ・セミナーの構成:観光経営に必要な知識を学び自身の事業に活かす「レクチャー編」と、各種デジタル技術を観光経営に導入する考え方、応用事例、活用検討を実施する「体験編」から成る。

日時

・「レクチャー編(16コマ)」:
令和6年8月8日(木)・9日(金)・26日(月)・27日(火)・28日(水)
※欠席講義について、後日、講義ビデオ視聴を可能とする(調整中)

・「体験編(11コマ)」:
令和7年2月13日(木)・14日(金)・20日(木)・21日(金)

開催形式・場所

対面・オンライン(ZOOM)の選択制(ハイフレックス形式)
※対面での受講を推奨いたします。
対面講義会場:京都大学経営管理大学院内(〒606-8501 京都市左京区吉田本町)

受講料

おひとり30,000円

受講対象者

主に、京都府内の観光関連事業者、およびIT技術者やソリューション提供者とする

定員

20名(定員になり次第締め切らせていただくことがあります)

その他

- ・必要条件を満たした方には、(公社)京都府観光連盟会長および京都大学大学院経営管理研究部経営センター長より受講証明書を授与いたします。
- ・本セミナー受講後に、受講レポートを提出していただくことを予定しております。テーマや形式については、オリエンテーションでご説明いたします。

お申込・お問合せ

受講をご希望の方は、下記ウェブサイトより「申込フォーム」に記入、または「申込書の郵送」にてお申込ください。
・ウェブサイト <https://kbrc.jp/tourism/>
・お申込み(お問合せ)先
一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター 京都府観光経営セミナー事務局
〒606-8501 京都市左京区吉田本町36-1
Eメール: kbrc-office.k20@kbrc.jp
Tel: 075-753-3543
・締切:令和6年8月1日(木)

今こそ、観光業を新しいベクトルへ。

令和6年度

京都府
観光経営
セミナー

レクチャー編 令和6年8月8日木 / 9日金
26日月 / 27日火 / 28日水

体験編 令和7年2月13日木 / 14日金
20日木 / 21日金

京都大学にて開催

(京都市左京区吉田本町)



参加希望者は、裏面の募集要項を参照の上、下記のWebサイトよりお申込みください。

<https://kbrc.jp/tourism/>

スマートフォン・タブレットからは、右のQRコードを読み取ってください。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



お申込み
お問合せ

KBRC 一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター

京都市左京区吉田本町36-1
(京都大学経営管理大学院内)

京都府観光経営セミナー事務局 Tel. 075-753-3543 E-mail kbrc-office.k20@kbrc.jp

主催



公益社団法人 京都府観光連盟
Kyoto Tourism Federation

共催



協賛



京都大学経営管理大学院
経営研究センター

本事業は、京都府が厚生労働省の「地域活性化雇用創造プロジェクト」の採択を受け、観光入込客の増加等により事業拡大が見込まれる一方で、人手不足や非正規雇用の問題を抱える観光産業分野において、産業政策と雇用政策を一体的に推進することにより、正規雇用の創出を目指すものです。

このセミナーは**レクチャー編**と**体験編**から構成され、
両編の受講がお申込要件となっております。

レクチャー編

令和6年8月
8日木 / 9日金 / 26日月 / 27日火 / 28日水

各コマ80分
全16コマ

統計の基礎、経営戦略、マーケティング、組織経営、観光人財マネジメント、管理会計、観光地域戦略を理論と実践面から考えます。併せて、最近急速に普及がすすむデザイン思考、DXの基礎と応用を学びます。

実践 地域が輝き続けるための「観光地域戦略」について

- 理論 統計の基礎
- 理論 経営戦略
- 理論 マーケティング
- 理論 組織経営
- 理論 デザイン思考
- 理論 DXの基礎と応用
- 理論 観光人財マネジメント
- 理論 管理会計

8/8木	11:00-11:10	主催者開講挨拶	京都府観光連盟
	11:10-12:30	オリエンテーション	前川佳一 京都大学
	10:30 受付開始	13:40-15:00	理論 統計の基礎
8/9金	15:20-16:40	実践 地域が輝き続けるための「観光地域戦略」について	沢登次彦 株式会社リクルート
	9:30-10:50	理論 経営戦略 基礎・応用	前川佳一 京都大学
	11:10-12:30	理論 マーケティング I・II	若林靖永 佛敎大学
8/26月	13:40-15:00	理論 組織経営 I・II	若林直樹 京都大学
	15:20-16:40	理論 デザイン思考 I・II	藤田哲雄 京都大学
	9:30-10:50	理論 DXの基礎と応用 I・II	松井啓之 京都大学
8/27火	11:10-12:30	理論 観光人財マネジメント I・II	テイラー雅子 大阪学院大学
	13:40-15:00	理論 管理会計 I・II	青木章通 専修大学
	15:20-16:40	総括・まとめ	前川佳一 京都大学
8/28水	17:00-17:30		

※講師・テーマは変更になる場合があります。

レクチャー編 担当講師紹介 / 講義概要

前川佳一 京都大学

オリエンテーション
各講義の構成と狙い、受講生の貴方に学んでいただきたいポイントを紹介します。

理論 経営戦略
観光関連の事業やお仕事をされている貴方にとって「経営戦略」の視点で、事業を見つめ直すきっかけを提供します。そもそも戦略とは何でしょうか？経営に不可欠なんでしょうか？DXやAIなどのトレンドに対応するとしたら、経営戦略との関係はどう考えたいのでしょうか？

総括・まとめ
各受講生が、5日間のレクチャーを通じて検討した内容や、今後、自身取り組みたい課題へのDX応用について発表を行い、講師から講評・アドバイスを受けます。



専門
イノベーション、サービス経営、観光

沢登次彦 株式会社リクルート

専門 地域活性、観光地マネジメント、観光マーケティング

実践 地域が輝き続けるための「観光地域戦略」について
2024年3、4月は、訪日外国人者数はコロナ前を上回り、急速に需要が回復する一方、人手不足やオーバーツーリズムなど、地域には新たな課題にも直面していることと存じます。10年先、100年先も地域が輝き続けるために、まさに今から取り組む必要がある戦略やマネジメントにとって何が必要かを、学んでいただく講義です。



若林直樹 京都大学

専門 組織行動論、人的資源管理論、ネットワーク組織論

理論 組織経営
観光事業にとって、経営基盤の一つは、ヒト(人財)およびその集まりである組織です。組織がうまく機能しなければ、人材がうまく働かず、よりよい業績や成果を上げられません。今年度は特に、観光分野での組織におけるやる気の向上とリーダーシップにおけるあり方について、議論したいと思います。特に、従業員の定着の観点から、従業員のやる気を考える必要があります。また、従業員のアイデアや貢献を引き出すリーダーシップのあり方も考えます。



テイラー雅子 大阪学院大学

専門 ホスピタリティ人材マネジメント、組織行動論

理論 観光人財マネジメント
観光産業において人材は中心的な役割を果たしていますが、その体系的な管理手法は困難です。この講義では、観光人財を日々の業務の中で育成するという視点から、実践的な人材マネジメント手法を検討します。



松井啓之 京都大学

理論 統計の基礎
私たちは、日々、観光に関する現状や予測、トレンドなど、様々な観光に関するデータに触れています。これらの数字をどう理解し、事業にどう活かすのか。そのため必要な統計の基礎を学びましょう。

理論 DXの基礎と応用
DX(デジタルトランスフォーメーション)をどう捉えていますか？すでに活用しているところがある、便利そうだがよくわからない、等、ご関心をお持ちのDXについて講義を行います。そもそもDXとは何かについて、デジタルとはから説き起こします。入口は情報学ですが、出口では実際のビジネス事例をご紹介します。



専門
計画理論、意思決定支援、ゲーミングシミュレーション

若林靖永 佛敎大学

専門 マーケティング、中小企業論、批判的思考教育

理論 マーケティング
貴方の事業は、現在、どのような状況でしょうか？コロナ前の活況を取り戻したい、もっと多くのお客様をお迎えしたい、とお考えであれば、そのために注目するところ、そして打ち手はどのようなものかについて考えていただきます。そもそもマーケティングとは何でしょうか？DXを推進するにあたり、たとえば経営戦略や経営組織が土台にあたるとしたら、マーケティングはDX実践の最前線にあるものかもしれません。



藤田哲雄 京都大学

専門 情報技術戦略論、イノベーション

理論 デザイン思考
デザイン思考は創造的な問題解決の手法であり、ユーザーの視点やニーズを重視しながらイノベーションを生み出します。ビジネスや社会の様々な分野で活用されており、DX時代の基本的なビジネススキルとなります。本セミナーでは、事例を交えてデザイン思考を解説し、近年それがクローズアップされた背景である価値創造の潮流変化にも言及します。皆さんの問題解決力向上のチャンスです。



青木章通 専修大学

専門 サービス業の管理会計、ダイナミックプライシング

理論 管理会計
会計、経理と言ったと取っつきにくいと思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、事業や経営のビジネスモデルと会計とは密接に結びついています。講義の前半では、会計数値を読み解く「数字の見方」について解説します。後半では、観光を含むサービス業界における管理会計の特徴や観光業界におけるダイナミックプライシングの現状を解説します。それはおそれず、経営改革やDXへのヒントになることでしょう。



観光事業の発展のため、今、何をすべきか、一緒に考えましょう

ここ数年の苦難の時期を乗り越え、いよいよ観光復活の時です。テクノロジーは進歩を続け、われわれの生活にも大きな影響を与えてきました。DX(デジタルトランスフォーメーション)、オンライン会議・講義、AI(人工知能)の進化(ChatGPT)など。観光業界が発展し日本経済を支えていくためには、こうした最新のAI技術やデジタルアプリにも柔軟に対処していくことが求められるでしょう。ただ、これらにやみくもに飛びつくのではなく、観光経営の理論や現状に照らし、どのように役立たせることができるのかという工夫が必要なのではないでしょうか。本セミナー前半の「レクチャー編」では、経営学全般(経営戦略、マーケティング、組織論、会計学、統計)の基礎を学んでいただきます。後半の「体験編」では、それらをベースとして、改革のアイデアを実践するうえでの課題を示し、さらにそれらを乗り越えるための演習や模擬体験も用意しました。セミナー終了後には、あなたが現場に戻って取り組むべきそれぞれの方向性やノウハウなどが、形を現しはじめることと確信しています。

前川 佳一
京都大学経営管理大学院 客員教授



体験編 担当講師紹介 / 講義概要

前川佳一 京都大学

専門 イノベーション、サービス経営、観光

オリエンテーション
本セミナーの監修・総括を担当する前川佳一先生より、各講義の構成と狙い、受講生の貴方に学んでいただきたいポイントを紹介します。

まとめ
「体験編」を振り返り、また「レクチャー編」も含めて、受講生がセミナーを通じて得られた気づきや今後の自業務への反映について発表し共有します。また、その発表をもとに各受講生が作成する「課題レポート」について説明し、後日提出いただきます。



村野剛太
東京海上日動システムズ(京都大学経営管理大学院 客員准教授)

専門 東京海上日動システムズ(株)デジタルイノベーション本部長 東京海上グループにおけるDX推進

体験 システム開発演習
自身の事業を変革することを想定し、観光関連事業の経営・運営上の課題を取り上げ、DX手法を用いたソリューションを導き出すプロセスを体験していただきます。



廣澤健樹 ANAシステムズ

専門 航空系ITシステム開発のプロジェクトマネジメント

体験 プロジェクトマネジメント演習
観光のサービス・プロダクトを作る「プロジェクト」を成功に導くには適切な「プロジェクトマネジメント」が必須となる。プロジェクトマネジメントの世界標準である「PMBOK」を通じて、必要なプロセスや知識の全体像と実践における注意点を学びます。



香山哲司 NEW3コンサルティング

専門 DX推進、情報セキュリティ：醍醐寺におけるDX推進、自治体・民間企業でのITインフラや情報セキュリティの計画・実装支援

体験 リアル課題演習
8月の「レクチャー編」の理論や、直前の「体験編」の開発演習を前提として、実際の課題を構想するために、以下の演習に取り組んでいただきます。課題発想のためのヒント(観光施設のマネジメント事例、DX時代の情報セキュリティなど)や課題分析ツールをもとに、グループで具体的な実践方法などを討議いたします。



篠原洋輔 4sidesB株式会社

専門 企業等の経営戦略・事業戦略の策定・実行支援、顧客価値創造支援、人材戦略・組織力強化支援、地域創生・まちづくり支援

体験 受講生発表&講評
リアル課題演習でグループ討議した内容を全グループが発表。これに対し、すべての受講者や講師と質疑・応答することにより、理解度を深め、実用性を高めると共に、他の参加者の抱える課題やアイデアの共有から新たな気づきを得られます。


